

和歌山県特産農産物を活用した健康産業イノベーション推進地域

特産果樹等の高付加価値化を「医・農」連携で推進し、健康産業創出による地域イノベーションを先導する。

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…和歌山県商工会議所連合会、和歌山県農業協同組合連合会 ほか
 学…近畿大学、和歌山県立医科大学、和歌山大学 ほか
 官…和歌山県、わかやま産業振興財団
 金…紀陽銀行

地域イノベーション戦略

特産果樹類の保健機能成分の解明と効能検証、高付加価値な加工食品の開発等を進め、基盤産業の改革、健康産業の創出を目指します。併せて、県民の健康意識の向上と保健機能食品の適切な活用、消費事業育成を図るため、食・運動・健康に関わる人材の育成プログラムの開発と健康マネージメントシステムを構築し、県民の健康力を向上させ健康長寿社会の創出を目指します。



プロジェクトディレクター
前田 育克

略歴：元和歌山県工業技術センター副所長。元和歌山大学客員教授。大阪市立大学 博士(工学)。専門 高分子化学。

和歌山県には、地域資源を活かした事例として梅関連産業があります。この事例検証と新たな視点(保健機能成分活用、新規加工技術による高付加価値化商品開発等)を活かす仕組み構築とその活用により、梅と他の農産物を活かした健康産業を育成します。また、疾病予防に向けた取組として、生活習慣病と地域特性の関連評価、シニアエクササイズ活用等の要素を活かす仕組み整備・地域密着型試行により健康寿命延伸による元気シニア社会創出を目指します。

事業の内容

【事業概要】

地域資源を活かした健康産業の創出に向けた、研究課題の事業化及び元気シニア社会構築のため、下記の地域連携ネットワークを連携させながら、健康イノベーションセンター(HIC)の機能を充実させました。

- (1) 特産果樹の機能性研究のための研究ネットワーク
- (2) 特産果樹の新たな価値及び価値付与技術を活用した事業化ネットワーク
- (3) 地域健康特性調査研究と健康推進リーダー育成による健康長寿社会創出ネットワーク

①特産果樹の新たな価値開発

特産果樹に含まれる有用成分を探索し、その成分を効能評価のための評価システムの充実及びその効能効果を活かした機能性食品等を開発することで新規市場を形成しました。また、有用成分の効能に関するデータベースの整備・活用や機能性表示食品への誘導支援を積極的に進めました。

②加工技術開発による特産果樹の高付加価値化

特産果樹の新規の加工方法を検討し、機能性成分の保持等の新規の特性を有する食品や食品素材の開発を進め、新規市場を形成しました。開発した加工技術を活用することで特産果樹の生産から市場供給までを一貫して進める地域密着型の「6次産業化」の基盤形成を行いました。

③元気シニア社会構築のための要素技術開発

シニアエクササイズを自発的かつ継続的に実施する仕組みとそれを推進するエキスパート人材を育成しました。また、「地域特性や生活習慣と疾病の関係」を調査するコホート研究を引き続き県内3町で実施し、それぞれの地域特性と疾病の関係を明確にしました。

【主な成果】

特産果樹の機能性を活かした「モノづくり」及び地域住民のライフスタイル(食と運動)と健康特性研究を結びつけた「健康長寿づくり」を進め、それらの知見を活かした「健康産業の創出」を目指しました。構築した3つのネットワーク活動から以下の成果が得られました。

(1) 特産果樹の機能性研究のための研究ネットワーク

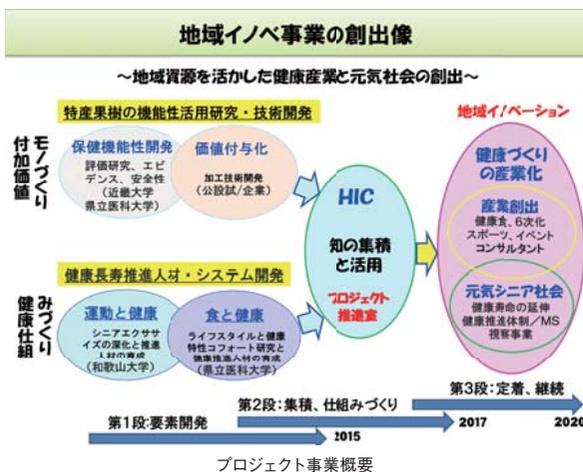
招へい研究者と地域連携研究者の研究成果を把握し、その活用に向け有機的な連携を図りました。成果として、梅ポリフェノールの新規の効能(抗炎症作用・整腸作用・抗ウイルス等)を見出しました。また、効能評価システムを活用し、他の有用成分の検索に向け、「農産物有用化合物活用研究会」との連携により、候補化合物を探索しました。

(2) 特産果樹の新たな価値及び価値付与技術を活用した事業化ネットワーク

新規の果樹加工技術の開発とそれによる新規の食品の市場展開を行いました。また、食品産業の高付加価値化を目的に「農産物有用化合物活用研究会」を実施し、中核企業を主体にコンソーシアムを形成するとともに、国・県等の助成金の支援を活用して事業化を図りました。また、ベンチャー企業とともに、「生果実の過熱水蒸気処理技術」を発展させ、農作物からの新規食材・食品の開発や加工を連携させたモデルを確立しました。

(3) 地域健康特性調査研究と健康推進リーダー育成による健康長寿社会創出ネットワーク

地域の生活習慣と健康特性の調査研究等の成果を市町村の健康支援に活かす仕組み「市町村モデル」を企画・検証しました。市町村における健康増進活動と、生活習慣と健康特性の関係を調査するコホート研究の成果やシニアエクササイズなどを連携させることで、一部の地域で高齢者の介護認定率低下の兆しが確認されました。



農産物有用化合物活用研究会



梅生果の過熱水蒸気加工